



株式会社ウイン・インターナショナル 個人投資家向け会社説明会

WIN INTERNATIONAL CO., LTD.

2011年6月11日

証券コード:2744

株式会社ウイン・インターナショナル

代表取締役社長 秋沢 英海

会社概要	2
事業環境～厚生行政～	3
【専門性】	4
【堅実性】	6
【成長性】	9
事業体制と今後の展開	12
前期決算	13
今期業績予想	14
株主還元	15
(ご参考)		
同業他社比較	17

“New Innovative Wave”

WIN(ウイン)は「新しい医療周辺ビジネスの構築」を通じて社会に貢献します。

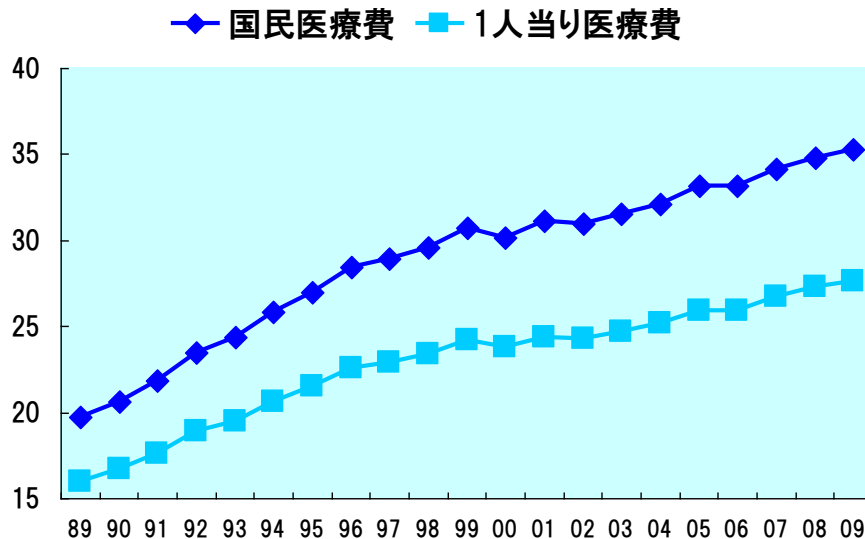
- 設立 : 1983年6月1日
- 本社 : 東京都台東区台東4-24-8
- 自己資本 : 66億74百万円[2011年3月期]
(資本金:3億30百万円)
- 売上高 : 292億58百万円 [2011年3月期]
- 事業内容 : 医療機器の販売
- 従業員 : 251名
- 役員構成 : 代表取締役社長 秋沢 英海
他、取締役3名(うち、社外取締役1名)
監査役3名(うち、社外監査役2名)



[2011年3月末現在]

(1): 国民医療費の増大

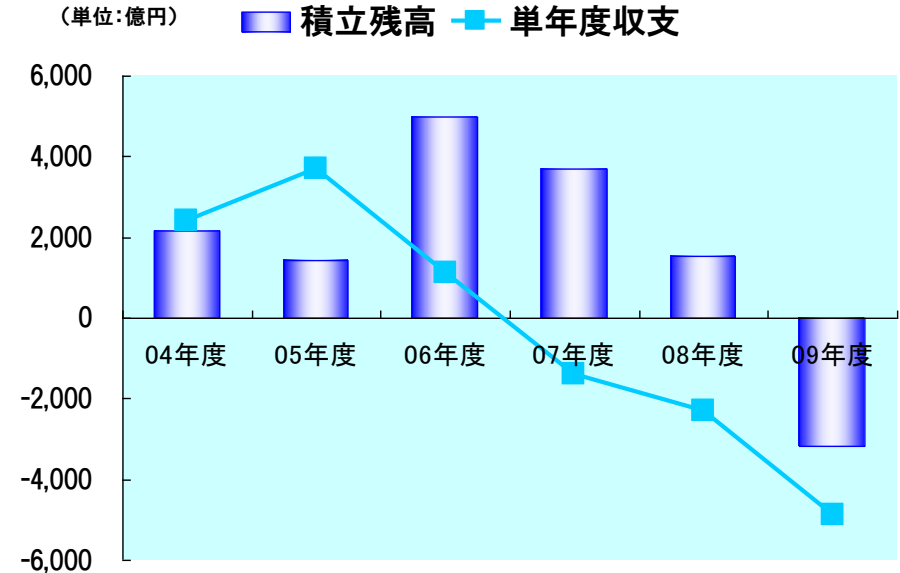
(単位: 兆円、万円/人)



(出典) 厚生労働省「平成20年度国民医療費の概況」
 ※2009年度は「平成21年度医療費の動向」の概算医療費の値で記載

(2): 医療保険財政の悪化

(単位: 億円)

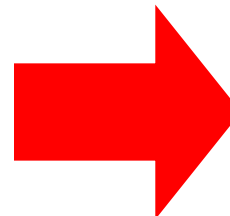


(出典) 全国健康保険協会「平成21年度決算について」

09年度概算医療費

35兆2,501億円

前年比1兆1,900億円増(+3.5%)



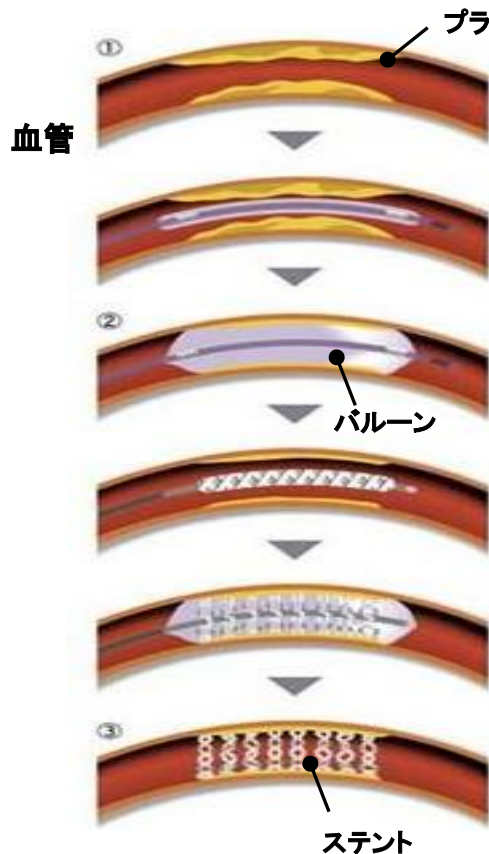
09年度全国健康保険協会

単年度収支▲4,893億円

積立残高 ▲3,179億円

【専門性】主力分野：低侵襲治療

低侵襲治療：心臓カテーテル、ステント治療



- ① 手首・足の付け根などから直径1.0～1.2mm程度の針を動脈に刺し、カテーテルを挿入し、患部に到達させる
- ※プラーク：動脈血管内での蓄積物
- ② カテーテルの先端に取り付けたバルーン(風船)を膨らませ、血管を内側から広げて詰まりを解消する
- ③ 再狭窄(血管が再び詰まること)を防ぐため、ステント(筒状の金属)を患部に留め置く

外科手術：心臓バイパス手術





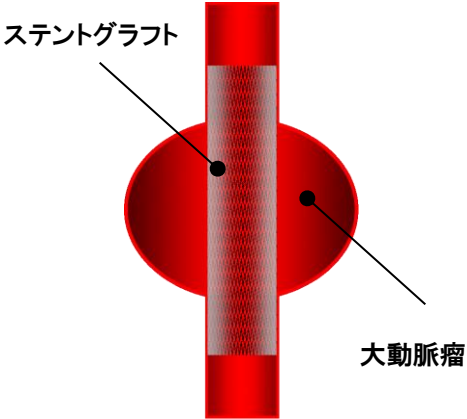

心臓が見えるように約20cm程、胸骨を開き(開胸)、詰まっている血管はそのままにし、新しい血液の通り道(バイパス)を作り、血流を回復させる

■治療法の比較(狭心症の場合)

治療法	心臓カテーテル、ステント治療	心臓バイパス手術
	低侵襲治療	外科手術
身体的負担	・局所麻酔 ・手首、足の付け根から直径約1.0～1.2mmの針で刺す(穿刺)	・全身麻酔 ・心臓が見えるように約20cm程、胸骨を開く(開胸)
入院期間	約3日～1週間(※)	約2～4週間

※入院期間の短縮は、医療費の抑制に繋がる。

心臓カテーテル(PCI)販売で全国トップシェア

CRS	CVS	DMS
<p>(心臓律動管理関連)</p>	<p>(心臓血管外科関連)</p>	<p>(糖尿病関連)</p>
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <p>ICD (植込み型除細動器)</p>  <p>CRTD (両心室ペーシング機能付植込み型除細動器)</p> </div>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <p>ステントグラフト</p> <p>大動脈瘤</p> </div>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <p>インスリンポンプ</p> </div>
<p>ICD: ペースメーカー機能に加え、致死性の異常に速い拍動を止め、心臓に正常な拍動を取り戻す機能がある。</p> <p>CRTD: 両心室の電気刺激により、心臓のポンプ機能を改善させ、致死性の異常拍動を止める機能がある。</p> <p>* 従来のペースメーカーに比べ高額だが、致死性の高い拍動に対応するなど、高機能・多機能化している。</p>	<p>ステントグラフト内挿術:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステント(筒状の金属)を取り付けた新型人工血管を患部に留置し、大動脈瘤への血流を遮り、破裂を防ぐ。 ・従来の治療法は、外科手術(開胸/開腹手術)が一般的だったが、最近では低侵襲治療法であるステントグラフト内挿術が普及し始めている。 	<p>インスリンポンプ療法:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インスリンを持続的に注入するコンピュータ制御の小型医療機器による治療法。 ・患者様の負担を軽減し、生活の質を改善。 ・アメリカでは広く普及しているが国内では一般的でない治療法。

【堅実性】 当社の使命と行動指針

当社の使命

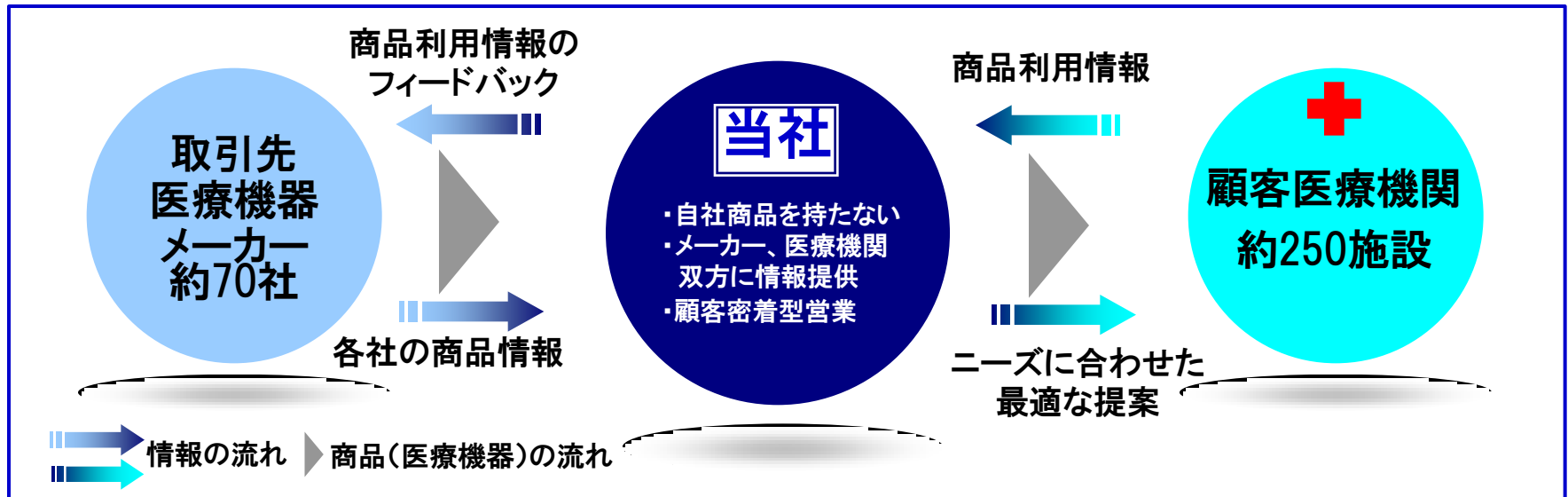
医療周辺ビジネスを通じての社会への貢献



正しい判断基準により、“当たり前前”のことを“当たり前前”に、愚直に行う。

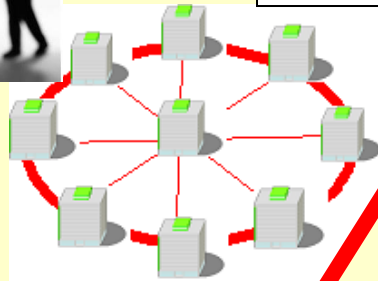


“安全”+“安心”+“信頼”の提供＝顧客ニーズの追求





人材紹介



当社ネットワークを活用し、
施設マッチングを考えた上
での人材紹介

当社

安全

安心

信頼

設備投資



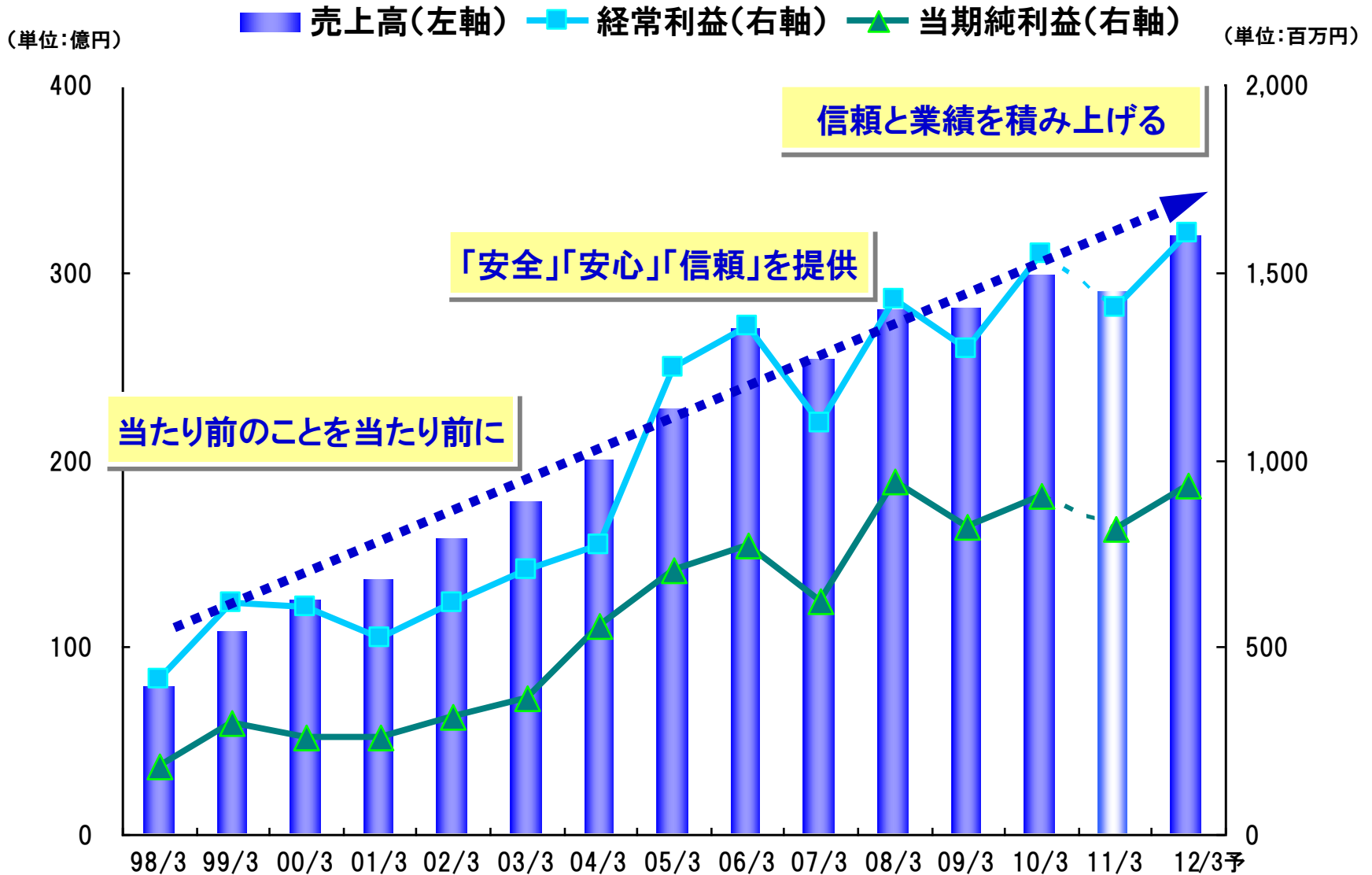
- 高度医療を実施する為の
設備選定・導入支援
- 投資回収提案

集患施策



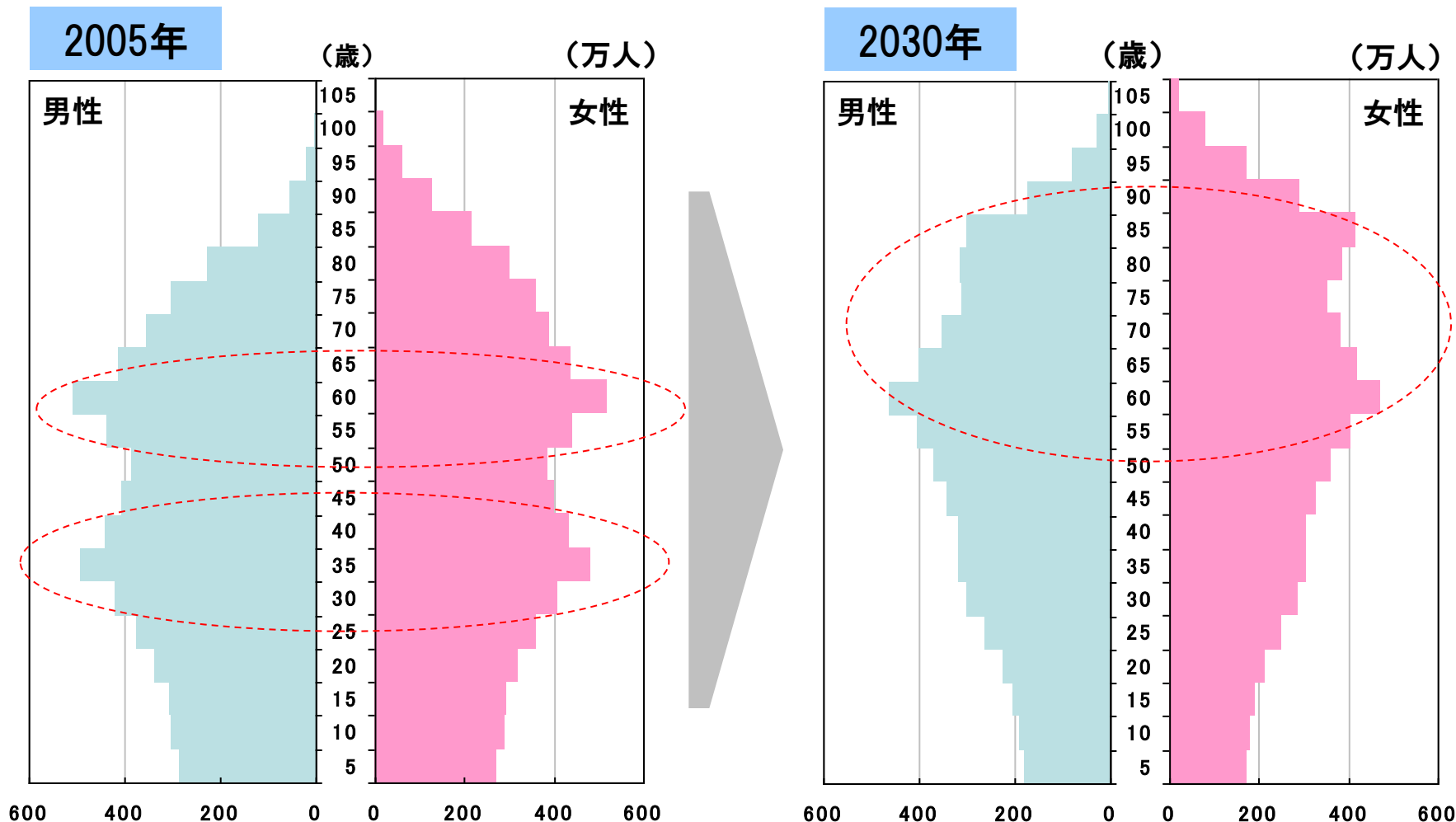
- 診療圏調査等を活用した
患者増加案、症例数確保
- 最新の情報、医療現場に
立脚したアドバイザリー
サービス

【堅実性】信頼と業績を積み上げていく



【成長性】人口構成の推移とPCI患者層①

少子高齢化で激変する人口ピラミッド、人口のボリュームゾーンが上昇

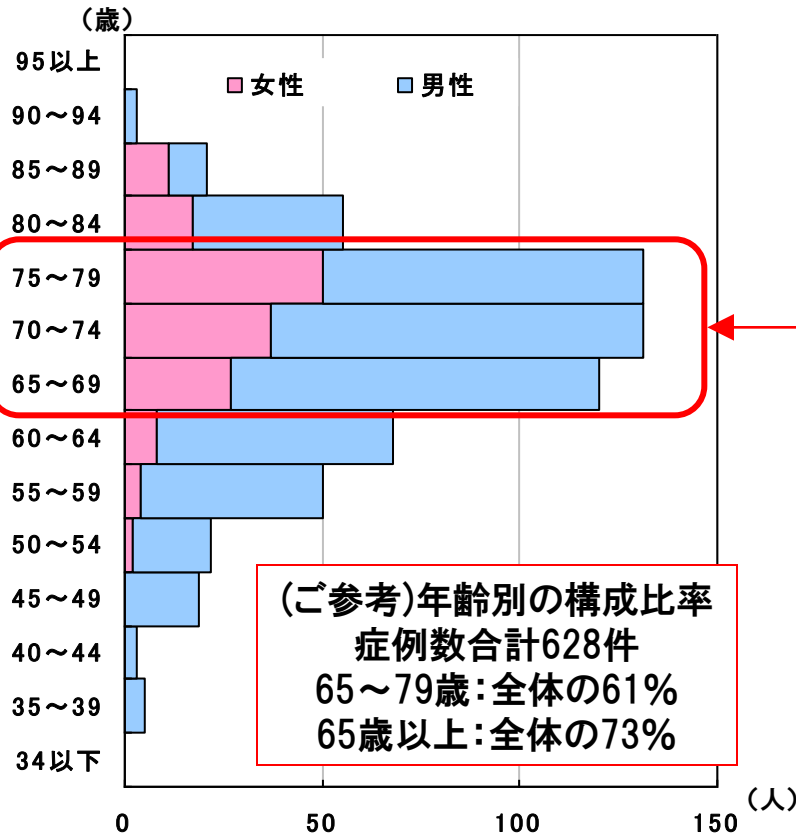


(出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口推計」(平成18年12月推計)

【成長性】人口構成の推移とPCI患者層②

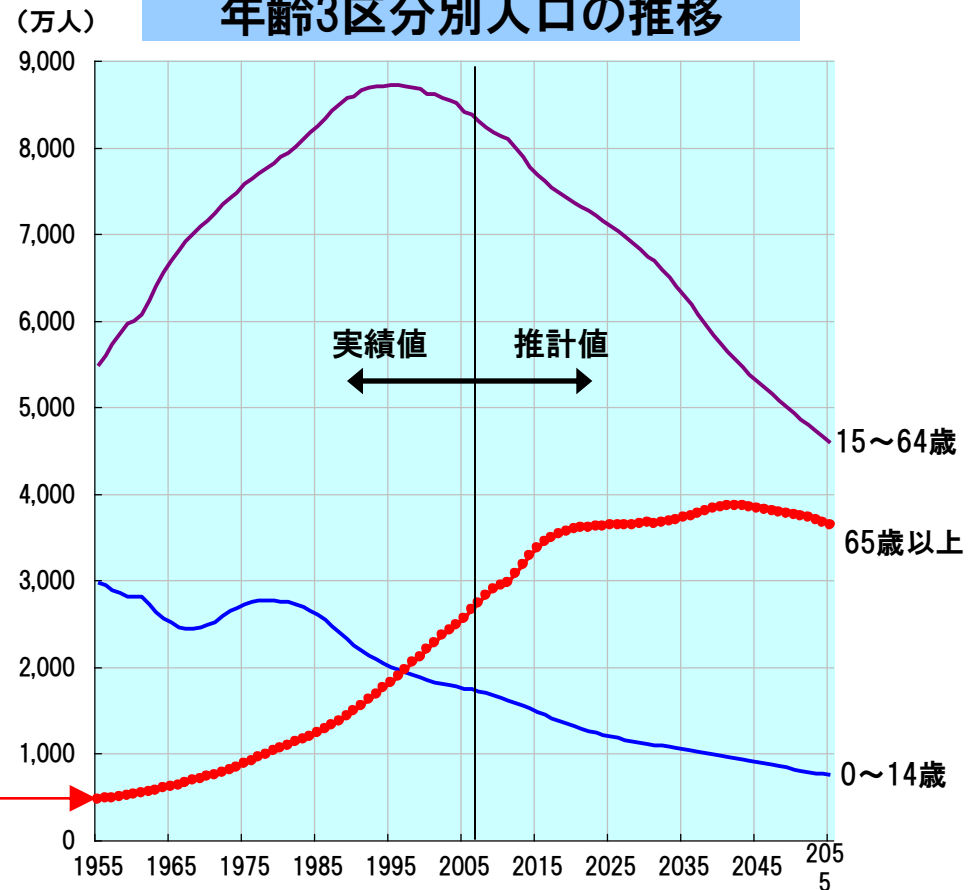
【PCI】(虚血性心疾患関連): 中心患者である65歳～79歳の人口は増加が続く

心臓カテーテル治療症例数(年齢別)



(出典)当社取引先の3ヶ月間の年齢別症例数

年齢3区分別人口の推移



(出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来人口推計」(平成18年12月推計)

【成長性】首都圏への集中

高齢者人口の動向

■2015年までの高齢者(65才以上)人口の増加状況

【首都圏の高齢者人口】《2005年》761万人 → 《2015年》1,078万人…約320万人増加(図1)。

【高齢者人口増加率】指標:2005年を100 → 2015年《全国》131.1 < 《首都圏》141.6(図2)。

※特に、業務核都市等の拠点都市へ通勤・通学するための宅地化が進んだ都心から10km~50km圏内は、団塊の世代が多数居住している地域であり、高齢者人口の増加が顕著である。

図1 高齢者の将来推計人口(実数)

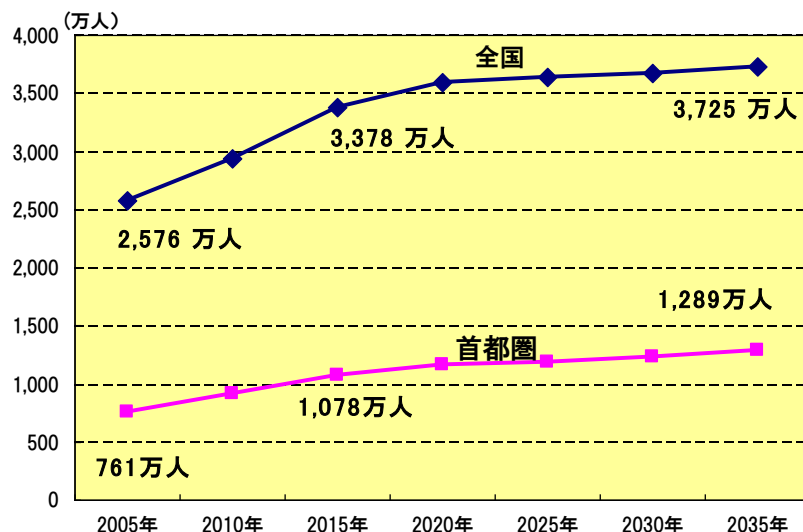
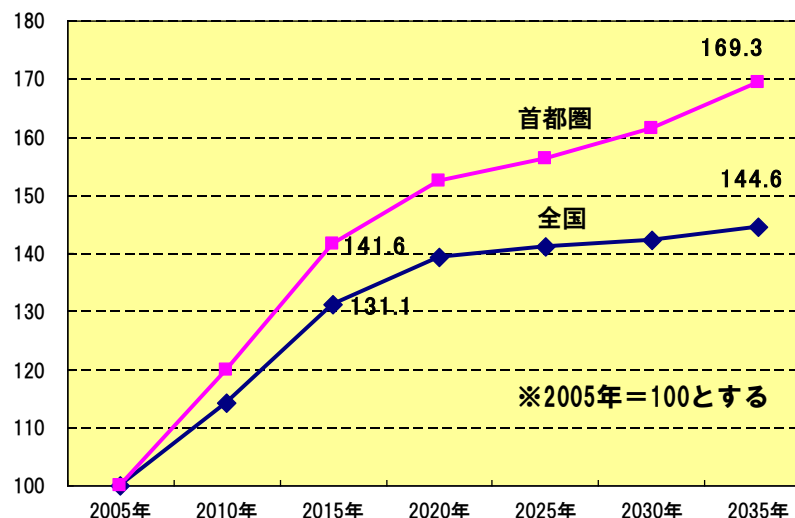


図2 高齢者の将来推計人口の指標



(出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の市町村別将来推計人口」(平成20年12月推計)

事業体制と今後の展開

(医療機器販売事業)

＜エリアマネジメント＞
第一～三営業部

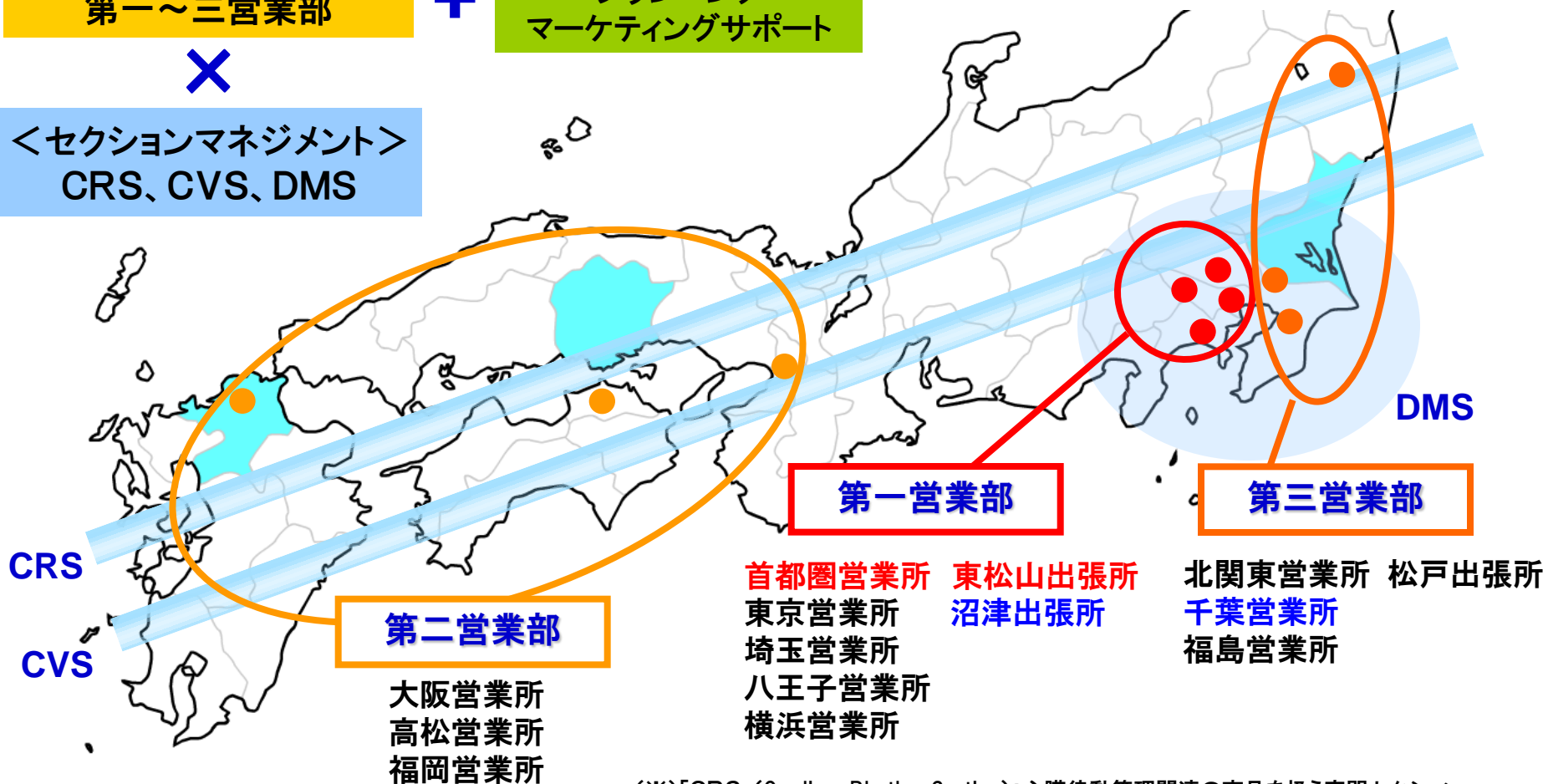


(その他事業)

＜新規事業部＞
プランニング
マーケティングサポート



＜セクションマネジメント＞
CRS、CVS、DMS



(※)「CRS」(Cardiac Rhythm Section):心臓律動管理関連の商品を扱う専門セクション。
「CVS」(Cardiac Vascular Section):心臓外科関連の商品を扱う専門セクション。
「DMS」(Diabetes Mellitus Section):糖尿病関連の商品を扱う専門セクション。

前期決算（2011年3月期）

	2010年3月期		2011年3月期		
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	前期比(%)
売上高	29,987	100.0	29,258	100.0	▲ 2.4
売上原価	26,044	86.9	25,322	86.5	▲ 2.8
売上総利益	3,942	13.1	3,936	13.5	▲ 0.2
販売管理費	2,401	8.0	2,486	8.5	+3.5
営業利益	1,541	5.1	1,449	5.0	▲ 5.9
営業外収益	12	0.0	14	0.0	+17.8
営業外費用	4	0.0	2	0.0	▲ 36.0
経常利益	1,548	5.2	1,461	5.0	▲ 5.7
特別利益	—	—	5	0.0	—
特別損失	—	—	3	0.0	—
税引前当期純利益	1,548	5.2	1,462	5.0	▲ 5.5
税金費用	646	2.2	608	2.1	▲ 5.8
当期純利益	902	3.0	854	2.9	▲ 5.4

売上高 ▲2.4%
(マイナス要因)
償還価格の引き下げ
(プラス要因)
・数量ベースでの増加
(症例数、症例あたり使用量の増加)
・心臓律動管理関連等の高額製品の販売増加

売上総利益率 +0.30pt
(プラス要因)
・取扱主力製品の仕入条件の改善
・販売目標達成によるリベートプログラムの寄与
・商品の一括購入によるコストダウン

売上総利益額 ▲0.2%
(マイナス要因)
・償還価格の引き下げ
・その他事業の売上総利益額の低下

販管费率 +0.49pt
(コスト増加要因)
・営業部門強化の為に人件費増
・震災への義援金の支出

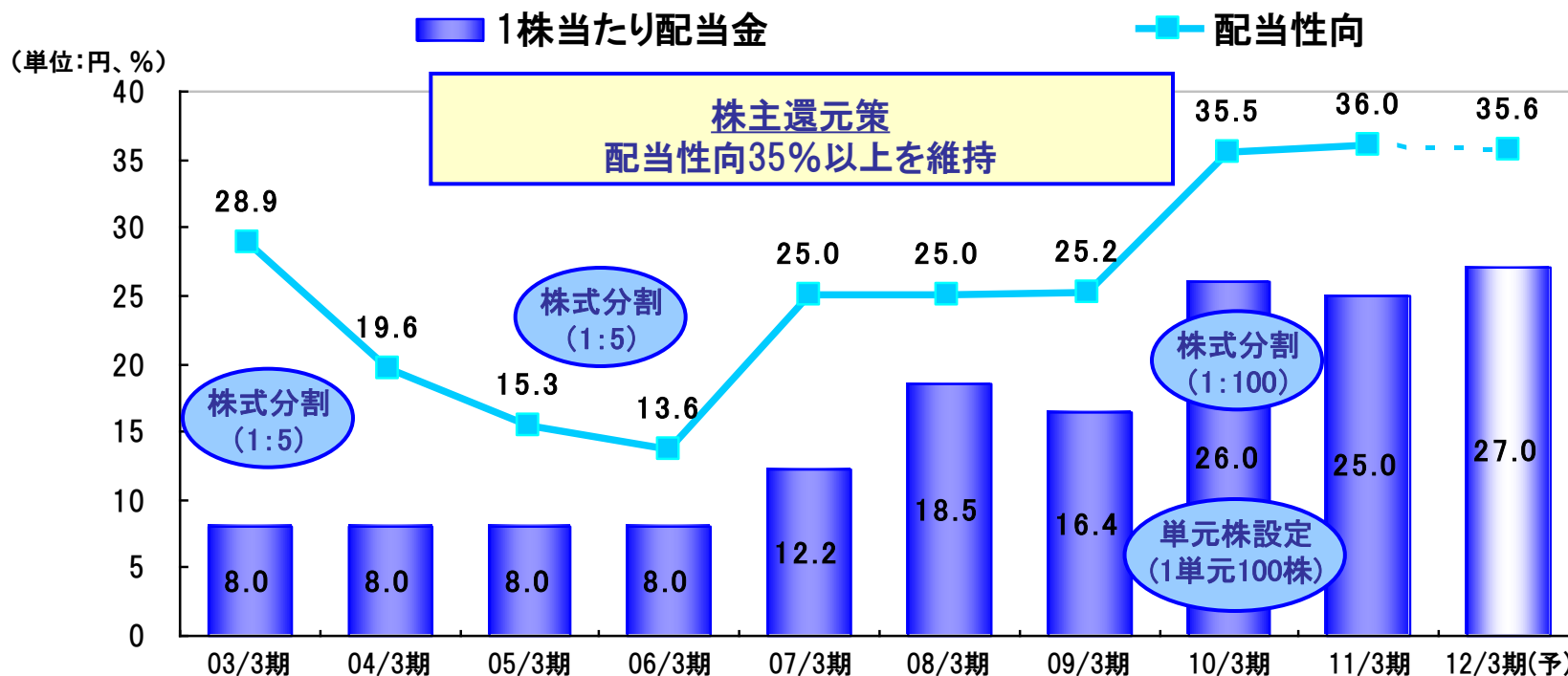
今期業績予想（2012年3月期予想）

【今期業績の前提】

- ・東日本大震災の影響が不透明な部分もあるが、現時点で想定される要素を考慮した上で、増収増益計画。売上高は前期比+9.4%、営業利益で+10.4%、

	2011年3月期(実績)		2012年3月期(予想)		
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	前期比(%)
売上高	29,258	100.0	32,000	100.0	+9.4
営業利益	1,449	5.0	1,601	5.0	+10.4
経常利益	1,461	5.0	1,605	5.0	+9.9
当期純利益	854	2.9	931	2.9	+9.1
1株当たり当期純利益(円)	69.41	—	75.74	—	+9.1
1株当たり配当金(円)	25.00	—	27.00	—	+8.0

株主還元(配当性向35%以上)



	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
取得期間	04/7/1~05/5/20	07/9/3~08/2/29	08/11/7~12/12	09/2/6~3/10	11/5/12
取得株数(注)	343,100株(2.64%)	151,100株(1.16%)	251,900株(1.94%)	100,000株(0.77%)	100,000株
取得金額	238百万円	70百万円	99百万円	39百万円	61百万円
取得上限	50万株/250百万円	20万株/80百万円	30万株/100百万円	10万株/40百万円	12.5万株/76百万円

(注)1株当たり配当金、自己株式取得・消却の株数はいずれも株式分割調整後。自己株式の取得株数の後ろのカッコ内は消却前発行済株式数に対する比率

※1回~4回までの取得分は消却済み 消却日:09/3/31 消却株:696,600株(5.36%)発行済株数:12,303,400株(消却後)



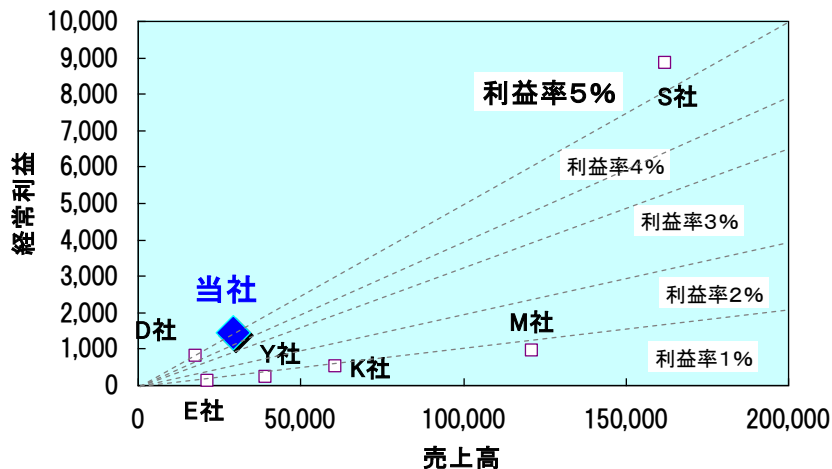
WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

(ご参考)

(ご参考) 同業他社比較

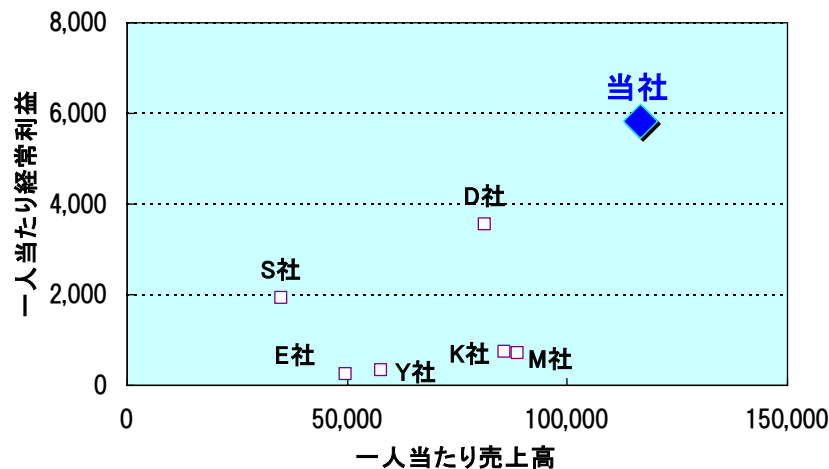
業績規模の比較

(単位:百万円)



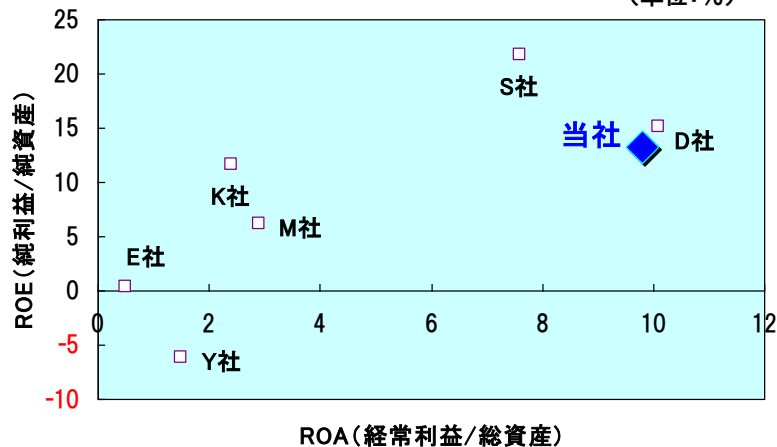
生産性の比較

(単位:千円)



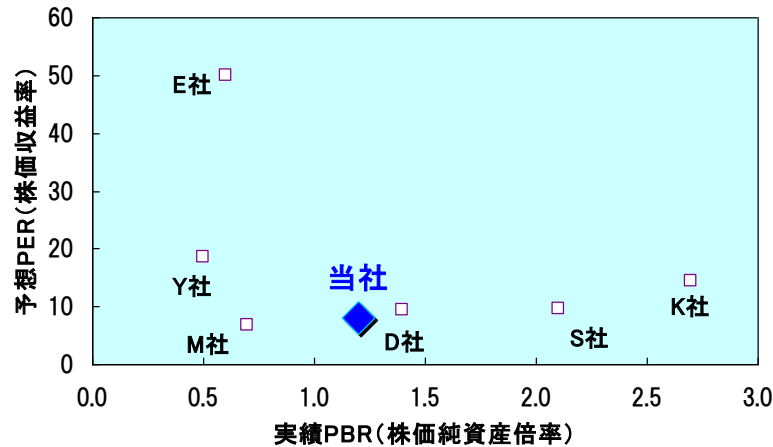
資産効率の比較

(単位:%)



株価指標の比較

(単位:倍)



※株価は平成23年6月6日時点。各社の決算短信、有価証券報告書等により当社作成。一人当たり売上高・経常利益は直近の四半期報告書に記載の人員で算出。

5・6月決算の企業の売上・利益は会社四季報の見通し、純資産・総資産は直近四半期決算の数値を使用。

この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ウイン・インターナショナル(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2011年6月11日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

株式会社ウイン・インターナショナル

総務部 IR担当

TEL: 03-5688-0878 FAX:03-5688-0891

HP: <http://www.win-int.co.jp>